

感動の体育祭でした

佐野 眞吾

暑くもなく、寒くもない絶好の体育祭日和の中、毎年恒例の打ち上げ花火で開催をお知らせした第53回の西谷中学校体育祭は整然とした選手入場で始まりしました。校歌斉唱での昨年以上の大きな歌声と堂々とした選手宣誓は体育祭の成功を予感させるものでした。

午前中の個人種目（60m、100m、60mハードル、障害物）では、たとえ遅れてもゴールまで手を抜かない3年生の真剣な走りは感動的でした。その姿に、ご来賓の皆様から「西谷中の生徒はかっこいいですね」とお褒めの言葉をいただきました。

ムカデ競争、色別対抗綱引き、1年「カウボーイ」2年「台風の目」3年「騎馬戦」などの団体種目はどのクラスも心をつ一つにして取り組み、先生と生徒も一体となって盛り上がりました。今年から新たな種目になった「大縄飛び」では、短い練習期間にもかかわらず、わずか2分間で100回近くも飛んだチームが現れるなど目を見張るものがありました。何れの団体種目もチームで取り組む楽しさを味わうことができました。

吹奏楽部の統制がとれたすばらしいマーチング演奏に続いた運動部行進では、どの部もはつらつとした行進で、6月から始まる総合体育大会での活躍を期待させるものがありました。学級対抗などのリレーでは大きな声援のもと競い合う楽しさと抜きつ抜かれつハラハラドキドキのスリルを味わうことができました。

全体を通して、中学校最後の体育祭となる3年生が頑張ったお陰で体育祭全体が引き締まり、すばらしい体育祭となりました。来年度は、今の2年生がこの伝統を引き継いでくれるものと信じます。また、事前の準備から当日の運営まで運動部や生徒会の役員、専門委員の人たちが裏方で支えてくれていたことに感謝します。全ての人たちの協力があったこそこの体育祭でした。





避難訓練が行われました

5月12日(月)6校時、『震度5の地震が発生し、その後第一理科室から出火、延焼の恐れあり』という想定で避難訓練を行いました。今回の避難訓練は、今年度の最初ということもあり、避難経路の確認と防災や安全意識の向上を目的として行いました。有事の際の命を守る訓練ということで全生徒、教職員共に真剣に取り組みました。



生徒指導専任 中村 悟

25年度学習支援ボランティアを紹介します。

○がっこ先生(横浜国大の学生)

渡辺 君庸(毎週水曜日午前中)理科の授業(実験)を中心に支援します。

〜校外での生徒の活動〜

<5月3日 ザよこはまパレード(国際仮装行列)吹奏楽部が参加しました>



主な予定